

鳥取市女性応援つながりサポート事業【鳥取市】

個別事業費

916 千円

交付金額

675 千円

地域の実情と課題

本市では、令和4・5年度に講演やワークショップを通じて、女性が社会との絆やつながりの回復、困難を抱えている女性を支援することを目的に、悩みなどを自由に話すことのできる場所を提供し、悩みの解消や社会と人とのつながりの構築に取り組んできた。コロナ禍で孤独・孤立により、不安を抱える女性の実態は行政からは把握しにくい現状があり、こうした問題に対応するため、様々な困難を抱える女性に対し、相談や居場所の提供を行う必要がある。

事業の特徴

- ・鳥取市男女共同参画センターを活用した相談窓口の設置
- ・カフェや地区公民館を会場に気軽に話せる居場所づくり
- ・SNS等を活用した「相談につながるきっかけ」づくり
- ・相談を受けるスタッフの養成講座

事業の効果

電話やSNSを活用した相談窓口「まどぐちカフェ」を開設し、気軽に相談できる場を提供したところ、多様な相談が寄せられた。対面相談が93件、LINEや電話相談が25件であった。内容によって市の担当者や関係機関につなぎ、多様なニーズに対応することができた。利用者から、親近感がわいた、解決は難しい内容だったが聞いてもらって楽になった等と声があった。相談スタッフ養成として講演会、情報交換の場を設けることでメンタルケアに努めた。

目的・目標

女性の社会との絆やつながりの回復、不安を抱えている女性を支援することを目的に、悩みなどを自由に話せる機会や場所を提供することにより、悩みの解消や社会とのつながりの回復につなげる。悩みを共有することで不安解消につながるもの、生活支援を必要とするものや複合化した悩み等が寄せられた。リピーターや口コミ・相談啓発カード配布により件数が増えた。

【相談件数】目標：60件 実績：118件

連携団体

鳥取県東部と兵庫県北部で構成された「連携中枢都市圏」である「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」（鳥取県鳥取市、智頭町、若桜町、八頭町、岩美町、兵庫県新温泉町、香美町）の構成町に、相談啓発カードを配布し、周知を図った。

今後の課題

相談日の予約が取れないことへの対応や、自立を促すため悩みを共有し相互に援助し合える自助グループの開催など、さらに柔軟な居場所の提供が必要。生活支援を必要とするものや複合化した困りごとなどの専門性を必要とするケースに対応するため、相談員のスキルアップが必要である。併せてスタッフのメンタルケアも重要である。

令和6年度 鳥取市女性つながりサポート事業

【相談啓発カード】



電話やSNSを活用した相談窓口「まどぐちカフェ」を開設しました。

◆事業の周知

受託者のホームページや鳥取市ウェブサイト、市報やSNSを活用し、周知を行いました。また、相談啓発カードを女子トイレ等に設置しました。

◆主な事業内容

- ・鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」を活用した相談窓口の設置
- ・カフェ等を会場に気軽に話せる居場所を活用した相談窓口づくり
- ・SNS等を活用した「相談につながるきっかけ」づくり
- ・相談を受けるスタッフの養成講座



◆事業の効果

利用者の相談内容によっては、市役所の担当課や関係機関、受託者の企画（気分転換・おでかけアシストツアー）に繋ぐなど、困りごとの解消を図りました。また、相談スタッフ養成として講演会、情報交換の場を設けることでスタッフのメンタルケアに努めました。

◆利用者の声

- ・親近感がわいた ・話しやすかった
- ・公的窓口では相談できないような内容でも気軽に相談できた
- ・支援窓口まで付き添ってくれて安心した
- ・遠くまで来てもらってありがたい
- ・LINEで安心したので会って話そうと思った。その後うまくいっている
- ・解決は難しい内容だったが聞いてもらって楽になった、など



◆主な相談内容（118件／令和6年6月から令和7年3月）

悩みを共有することで不安解消につながるものや、生活支援を必要とするもの、複合化した悩み等が多く寄せられました。

介護 健康 子育て 障がい 賃貸契約 夫婦 離婚 婚活
ペット 家庭不満 引きこもり 仕事 施設入所 人間関係
職場 食事 進学 生活支援 認可外保育 認知症 幼稚園
法律相談 被災地支援など

◆対面相談の場所

- ・男女共同参画センター
- ・喫茶店
- ・こども食堂
- ・地区公民館
- ・自宅 ・学校
- ・児童相談所など

